

滋賀に、吃音のことを語り合える場所を創りたい。

私たち言友会（げんゆうかい）は、吃音（きつおん）があっても自分らしく、豊かに生きる方法を探すための活動を全国各地で展開しています。

2025年
9月7日(日)
13:30~16:30

草津市立市民交流プラザ
大会議室

(JR南草津駅南口 フェリエ南草津 5F)

参加費 無料 定員 80名

対象 吃音当事者や家族、支援者
吃音に関心のある方

プログラム

講演会、グループトークなど。

第7回
吃音のつどい
滋賀



主催 滋賀言友会

問い合わせ 080-3816-5301 (井坂) shiga.gyk@gmail.com

滋賀吃音のつどい

吃音とは？

吃音は、「スムーズに話せないこと」で、具体的には、①繰り返し（例：おおおはよう）、②引き伸ばし（例：おーはよう）、③ブロック（例：…おはよう）の3つが「中核症状」とされています。しかし、吃音によって引き起こされる問題は、「スムーズに話せないこと」だけではなく、主にブロックが生じている時に顔面が震えたり、手足を動かしたりすることで異様な印象を与えてしまう「随伴運動」や、言いづらい言葉を言い換えたりすることで、意味の通じづらい発話内容になってしまう「工夫」、そして、吃ることを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していく可能性もある「回避」などが指摘されています。そのため、表面的な中核症状の重さと、心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。

言友会とは？

吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体）として、1966年に東京で発足しました。吃音体験を分かち合う「例会」を中心とした取り組みを通じて、それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

滋賀言友会とは？

2022年9月に発足し、主に第2日曜午後、草津市立市民交流プラザで例会を開催しています。

プログラム

- 13:10-13:30 開場・受付
- 13:30-13:50 開会挨拶、言友会紹介
- 13:50-14:50 講演
- 14:50-15:00 質疑応答
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-16:10 グループトーク
- 16:10-16:30 トークまとめ、閉会挨拶

* 内容や時間配分は変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

講演：

社会学という観点から吃音を考える

講師：わたなべ かつのり 渡邊 克典 先生

徳島大学

大学院社会産業理工学研究部 准教授



2009年に名古屋大学で博士（社会学）授与。博士論文「国民国家形成期における発話障害と発話矯正」。自身にも吃音がある。主な研究テーマとして、福祉社会学・医療社会学の視点から障害者の当事者運動や福祉政策の策定プロセス研究に取り組んでいる。共著として『障害があり女性であること』（現代書館）、『〈当事者宣言〉の社会学』（東信堂）、『マイノリティ問題から考える社会学・入門』（有斐閣）、『知と実践のブリコラージュ』（晃洋書房）、『障害社会学という視座』（新曜社）など。

申し込み方法

以下のリンクより、事前にお申込みください。
右のQRコードからでも簡単にお申込みできます！

<https://forms.gle/jhpW2Uy2WF7JRpsA6>

